と熱田署に於いて青木社長、増本常務等と會見し、又勞技會系も十四日は一小部分を除いて就業したるも統制なく代表者選出をなさず十五日午后三時に至つて、二十三名の代表者選出し、審議會系代表と勞技會系議首を交へて三十八名は會社側と折衝を、荒川工場課長、稲葉熱田署長、末廣調停官、久野特高課次席、小川同課勞働係長等の斡旋に依つて解決の見透しなつたので早川警察部長の正式調停となり、次の如き覺書を交換して圓満解決した。